

**2008 年度**  
**保健医療と社会福祉の 4 カ国合同セミナー**  
**報 告 書**

アイユーゴー  
一途上国の人と共に一  
代表理事 新田幸夫

日本、ベトナム、ラオス、タイ 4 カ国の保健医療と社会福祉の合同セミナーは、2008 年 12 月 11 日に無事終了いたしました。2006 年にタイ北部で行われたセミナーに続き、第 2 回の合同セミナーとなりました。

この事業における目的は、日本、ベトナム、ラオス、タイの 20 歳から 39 歳までの若者の参加による保健医療と社会福祉の合同セミナーであります。社会的弱者に対する保健医療と社会福祉のあり方についてセミナーを開き、相互の情報交換をすることと共に、それぞれの現状を認識しつつ、新たな提言をして、東南アジア地域における保健・医療・福祉の充実と発展に寄与することにあります。

このたびは、開催国であったベトナム人のチームワークの強さを感じると同時に、今後は、タイはワチラ氏が、ベトナムではヒーン女史が、日本では設置される予定の「ユースの会」が、その国の若者の中心的役割を担うものとして、展開していくことになりました。次回は、医療保健、社会福祉に関して、WHO に貧困国と指摘されているラオスで開催し、ラオスの若者たちとともに考える機会を提供したいと思っております。

以下の要領で行われました。

## 1. 事業内容

- 1) 日時：2008 年 12 月 7 日～11 日
- 2) 場所：ベトナム、ダラット市、ダラット大学
- 3) 助成財団：(財)三菱 JFJ 国際財団
- 4) 事業内容：
  - (1) 交流：ベトナムのラムドン県にあるダラット大学キャンパスならびに少数民族のラット村において、2 日間の交流を行う。
  - (2) 参加者：タイ、ラオス、ベトナム、日本の 4 カ国から、行政関係者、および母子保健、栄養、感染症、検査技師、リハビリテーション、社会福祉などの知識を有する若者。
  - (3) セミナーの内容：

セミナーでは、それぞれの立場からプレゼンテーションを行い、さらに社会的弱者の救済に当たって取るべき手法について総合的に検討する。

    - 1) 発言者が専門とする分野を中心に各国それぞれの状況及び問題点を発表する。

2) 意見交換を行い、互いの認識を深める。

3) 各国の社会的弱者の救済に向けて合同セミナーの短期及び中期的行動プランを提言する。

5) 次年度に向けた行動プランの具体化：

4カ国の若者が保健医療と福祉に焦点を絞って交流し、行動計画を提言して、その連携する分野を充実させ、発展させていくことになる。次年度は、保健医療も福祉もほとんど完備されていないラオスにおいて、身体的・社会的弱者に対する保健医療と社会福祉のあり方を総合的に検討し、活動のシステムを構築し、推し進める。そして、さらに広くアジア地域を視野に入れることになる。

6) 合同セミナー開催方法

i) 第1日：移動日

ii) 第2日：

ダラット大学にてダラット大学の学生、院生、助手たちを集め、日本やラオス、タイの参加者が挨拶をする。本会が、この若者たちの合同セミナーの趣旨を説明する。引き続き、セミナーを開始する。

iii) 第3日：

セミナーに招いた専門家の講演を聴く。若者たちはディスカッションを通してアクションプランの原案作成。ダラット市内視察（病院他施設）異文化交流。（各国の文化の紹介）

iv) 第4日：

午前、アクションプラン完成。午後、ホーチミンへ。

7) 食事ならびに交流

昼食は、参加者は近くのレストランを使用することになる。夕食は、第3日は食文化交流になる。今回はベトナムと日本の食文化交流で、それぞれの国の文化を紹介する。

また、ラット村では、村人による踊りなどが披露される予定。

## 8) スケジュール

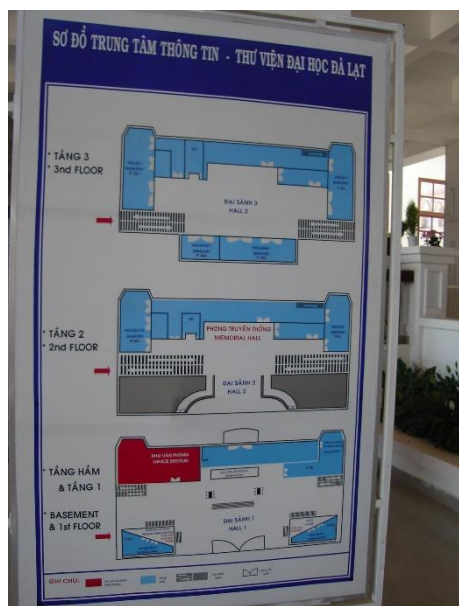
1日目 (7日)	
14:45	ホーチミン空港着
15:18	空港から出る。他の参加者と合流
16時前	大型車に乗り出発
19時すぎ	BayHo で夕食
20:38	再びダラットへ向かって出発
23:25	ホテル着
2日目 (8日)	
8:05	集合 活動内容の確認
8:30	朝食
9:00	出発
9:04	ダラット大学着
9:30	合同セミナー開始 自己紹介
10:30	Ms.Makiko Hata 発表
11:00	Coffee break
11:23	Ms.Kelly Durack 発表
12:00	Ms.Elsi Dwi Hapsari 発表
12:30	昼食
13:40	Mr.Nobuki Iwamoto 発表 Ms.Momoko Nagai 発表
14:45	Ms.Hien 発表
15:35	coffee break
16:00	Mr.Wachira Chotirosseranee 発表
17:00	ダラット大学から出発 自由行動
19:00	夕食 ホテル着 自由行動
21:25	

3日目(9日)	
8:00	集合 活動内容確認
8:20	朝食
9:35	ダラット大学到着
9:50	セミナー参加者で集合写真
10:00	Mr.Phoumy Bansouvanh
11:30	
12:00	昼食
14:00	Lat village 訪問 SOS village 訪問 グループに分かれて散策
17:00	DaLat 市場で夕食の食材集め
17:30	Lanbian Mountain に出発
18:05	到着 夕食作り 交流
22:20	ホテル着
4日目(10日)	
8:30	チェックアウト 朝食
9:30	来年のセミナーに向けて議論
10:30	出発
12:00	昼食
14:10	出発
18:45	ホーチミン内のホテル着 荷物を預ける 買い物 夕食
21:30	出発
22:10	空港着 自由行動
23:00	集合
24:	出発
最終日(11日)	
7:10頃	関西国際空港着 解散

9) 写真資料



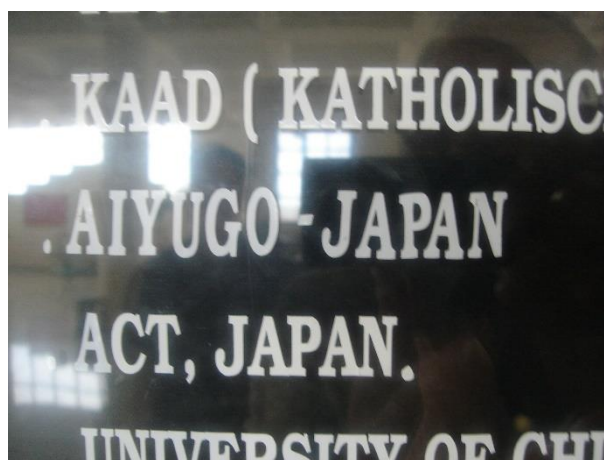
合同セミナーが開催された図書館



図書館内の配置図



セミナー室



図書館のホール中央に掲示されているダラット大学と提携を結ぶ関係する大学・団体の一覧。その中に、ケンブリッジ大学など著名な大学などと一緒にアイユゴ(AIYUGO)が加わっている。



正面 タイ教授と打ち合わせ



Dalat 大学学長を表敬訪問